

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2023年10月25日まで（2013年7月11日設定）	
運用方針	<p>短期ロシアルーブル債マザーファンド受益証券への投資を通じて、ロシアルーブル建ての短期公社債を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。</p> <p>マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。</p> <p>デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。</p> <p>実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>	
主要運用対象	ベビーフンド	短期ロシアルーブル債マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	ロシアルーブル建ての短期公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーフンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	<p>経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。なお、第2計算期末までの間は、収益の分配は行いません。</p>	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

短期ロシアルーブル債オープン （毎月分配型）



第65期（決算日：2018年11月26日）
 第66期（決算日：2018年12月25日）
 第67期（決算日：2019年1月25日）
 第68期（決算日：2019年2月25日）
 第69期（決算日：2019年3月25日）
 第70期（決算日：2019年4月25日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「短期ロシアルーブル債オープン（毎月分配型）」は、去る4月25日に第70期の決算を行いましたので、法令に基づいて第65期～第70期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
 フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決算期	基 (分配落)	準 価 額			債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 金					
	円		円		%	%	%	百万円	
41期(2016年11月25日)	5,863		30		5.7	95.1	—	1,122	
42期(2016年12月26日)	6,359		30		9.0	88.8	—	1,128	
43期(2017年1月25日)	6,413		30		1.3	95.4	—	1,294	
44期(2017年2月27日)	6,367		30		△0.2	95.0	—	1,447	
45期(2017年3月27日)	6,447		30		1.7	89.0	—	1,421	
46期(2017年4月25日)	6,577		30		2.5	95.7	—	1,257	
47期(2017年5月25日)	6,604		30		0.9	96.2	—	1,240	
48期(2017年6月26日)	6,266		30		△4.7	91.6	—	1,178	
49期(2017年7月25日)	6,223		30		△0.2	95.5	—	1,141	
50期(2017年8月25日)	6,254		30		1.0	94.6	—	1,232	
51期(2017年9月25日)	6,559		30		5.4	94.9	—	1,349	
52期(2017年10月25日)	6,642		30		1.7	93.3	—	1,327	
53期(2017年11月27日)	6,446		30		△2.5	93.8	—	1,345	
54期(2017年12月25日)	6,576		30		2.5	90.5	—	1,290	
55期(2018年1月25日)	6,584		30		0.6	93.1	—	1,287	
56期(2018年2月26日)	6,488		30		△1.0	94.4	—	1,291	
57期(2018年3月26日)	6,290		30		△2.6	94.9	—	1,260	
58期(2018年4月25日)	6,016		30		△3.9	91.8	—	1,272	
59期(2018年5月25日)	6,004		30		0.3	93.8	—	1,189	
60期(2018年6月25日)	5,840		30		△2.2	95.5	—	1,157	
61期(2018年7月25日)	5,931		30		2.1	95.1	—	1,163	
62期(2018年8月27日)	5,516		30		△6.5	94.3	—	1,134	
63期(2018年9月25日)	5,710		30		4.1	92.6	—	1,119	
64期(2018年10月25日)	5,701		30		0.4	94.1	—	1,091	
65期(2018年11月26日)	5,668		30		△0.1	94.1	—	1,067	
66期(2018年12月25日)	5,335		30		△5.3	93.0	—	996	
67期(2019年1月25日)	5,575		30		5.1	93.3	—	1,040	
68期(2019年2月25日)	5,648		30		1.8	95.6	—	1,057	
69期(2019年3月25日)	5,720		30		1.8	95.6	—	1,052	
70期(2019年4月25日)	5,847		30		2.7	95.0	—	1,093	

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
第65期	(期 首) 2018年10月25日	円 5,701		% —	% 94.1		% —
	10月末	5,771		1.2	94.1		—
	(期 末) 2018年11月26日	5,698		△0.1	94.1		—
第66期	(期 首) 2018年11月26日	5,668		—	94.1		—
	11月末	5,705		0.7	86.8		—
	(期 末) 2018年12月25日	5,365		△5.3	93.0		—
第67期	(期 首) 2018年12月25日	5,335		—	93.0		—
	12月末	5,344		0.2	92.7		—
	(期 末) 2019年1月25日	5,605		5.1	93.3		—
第68期	(期 首) 2019年1月25日	5,575		—	93.3		—
	1月末	5,577		0.0	93.1		—
	(期 末) 2019年2月25日	5,678		1.8	95.6		—
第69期	(期 首) 2019年2月25日	5,648		—	95.6		—
	2月末	5,653		0.1	94.6		—
	(期 末) 2019年3月25日	5,750		1.8	95.6		—
第70期	(期 首) 2019年3月25日	5,720		—	95.6		—
	3月末	5,715		△0.1	95.3		—
	(期 末) 2019年4月25日	5,877		2.7	95.0		—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第65期～第70期：2018年10月26日～2019年4月25日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第65期首 5,701円

第70期末 5,847円

既払分配金 180円

騰落率 5.9%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ5.9%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

▶ 基準価額の主な変動要因

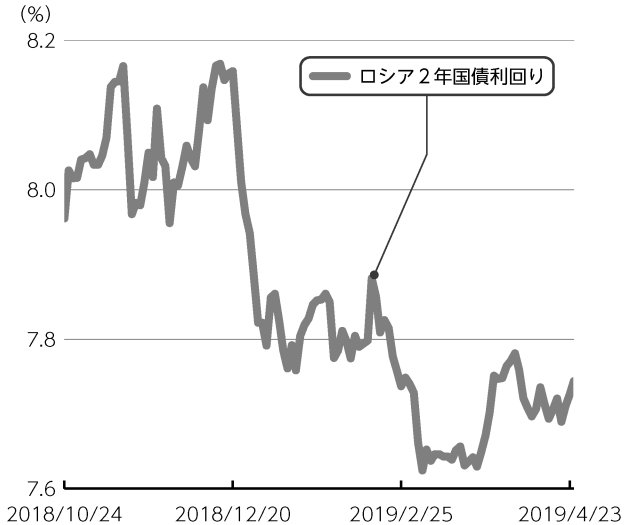
上昇要因

債券の利子収益を享受したことやロシアルーブルが対円で上昇したなどが基準価額の上昇要因となりました。

第65期～第70期：2018年10月26日～2019年4月25日

▶ 投資環境について

金利の推移



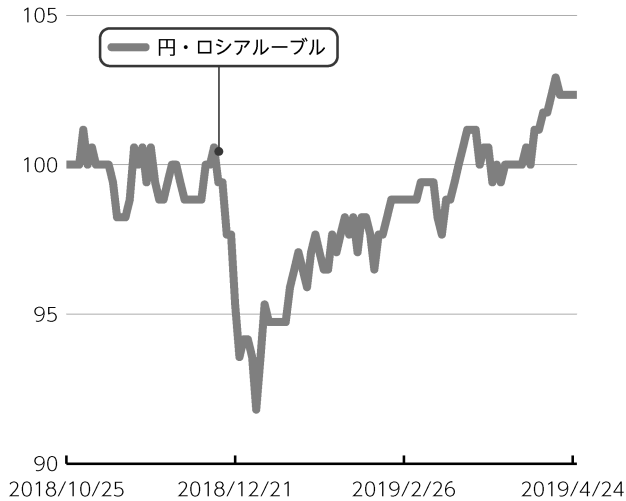
(注) 現地日付ベースで記載しております。

▶ 債券市況

ロシアの債券市場では、短期ゾーンの金利は低下しました。

2018年12月にロシア中央銀行が利上げを行ったことなどから、12月中旬にかけては短期ゾーンの金利は上昇基調で推移しました。その後、世界経済の減速懸念が高まったことに加え、2019年3月にロシア中央銀行が、インフレ圧力が抑制的であることを背景に2019年内に緩和サイクルに戻る可能性を示唆したことなどから、短期ゾーンの金利は低下基調で推移しました。

為替市況の推移（当作成期首を100として指数化、対円）



▶ 為替市況

ロシアルーブルは対円で上昇しました。ロシアルーブルは、2018年12月中旬までは対円で概ね横ばいで推移しましたが、2019年1月上旬にかけて、世界経済の減速懸念等を背景に投資家のリスク回避的な姿勢が高まったことなどから、対円で下落しました。その後、株式市場の上昇などを背景にリスクセンチメントが改善したことなどから、ロシアルーブルは対円で上昇基調で推移した結果、当作成期を通じてみると、ロシアルーブルは対円で上昇しました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 短期ロシアルーブル債オープン（毎月分配型）

短期ロシアルーブル債マザーファンド受益証券への投資を通じてロシアルーブル建ての短期公社債に実質的な投資をしました。

▶ 短期ロシアルーブル債マザーファンド

基準価額は当作成期首に比べ6.6%の上昇となりました。

ロシアルーブル建ての短期公社債に投資を行い、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざして運用を行い、作成期を通じて債券現物の組入比率は高位を維持しました。

種別構成については、作成期を通じて残存期間3年以内の国債および国際機関債を組み入れました。

債券の利子収益を享受したことやロシアルーブルが対円で上昇したことなどから、基準価額は上昇しました。

（ご参考）

■ 利回り・デュレーション（平均回収期間や金利感応度）

作成期首（2018年10月25日）		作成期末（2019年4月25日）	
最終利回り	7.5%	最終利回り	7.4%
直接利回り	7.0%	直接利回り	7.3%
デュレーション	1.6年	デュレーション	1.6年
平均残存年数	1.9年	平均残存年数	1.9年

- ・ 数値は債券現物部分で計算しております。
- ・ 最終利回りは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・ 直接利回りは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
- ・ 利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・ デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ・ デュレーション調整のため、債券先物を組み入れることがあります。この場合、デュレーションについては債券先物を含めて計算しています。
- ・ 平均残存年数は、各債券の残存年数を債券の額面で加重平均したものです。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第65期 2018年10月26日~ 2018年11月26日	第66期 2018年11月27日~ 2018年12月25日	第67期 2018年12月26日~ 2019年1月25日	第68期 2019年1月26日~ 2019年2月25日	第69期 2019年2月26日~ 2019年3月25日	第70期 2019年3月26日~ 2019年4月25日
当期分配金 (対基準価額比率)	30 (0.527%)	30 (0.559%)	30 (0.535%)	30 (0.528%)	30 (0.522%)	30 (0.510%)
当期の収益	28	23	30	30	30	30
当期の収益以外	1	6	-	-	-	-
翌期繰越分配対象額	2,520	2,514	2,516	2,519	2,519	2,524

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶ 短期ロシアルーブル債オープン（毎月分配型）

今後の運用方針

短期ロシアルーブル債マザーファンド受益証券の組入比率を高位とする方針です。

▶ 短期ロシアルーブル債マザーファンド

運用環境の見通し

ロシアでは、外部環境の不透明感はあるものの、潜在成長率程度の成長が継続することが見込まれます。

金融政策に関しては、自国通貨高と需要の弱さによりインフレ圧力が弱まっており、中央銀行は見通し通りに状況が展開すれば政策金利の引き下げを行う可能性を示唆しており、当面インフレ動向を注視することが予想されます。

主要先進国では、日本や欧州などの中央銀行により現行の緩和的な金融政策が継続する一方、米国では当面政策金利が据え置かれることが見込まれます。このような環境下、新興国に対する投資家のリスクセンチメントが改善する局面では、先進諸国との比較で相対的に金利水準の高いロシアなどへの金利差を狙った資金流入が今後も見込めると考えます。

今後の運用方針

（組入比率）

安定した利子収益の確保をめざし、高位組み入れを継続する方針です。

（種別構成）

当面は残存期間3年以内の国債および国際機関債での運用を行う方針です。

2018年10月26日～2019年4月25日

1万口当たりの費用明細

項目	第65期～第70期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	38	0.666	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(15)	(0.269)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(21)	(0.376)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.021)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.012	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.010)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	39	0.678	

作成期中の平均基準価額は、5,651円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

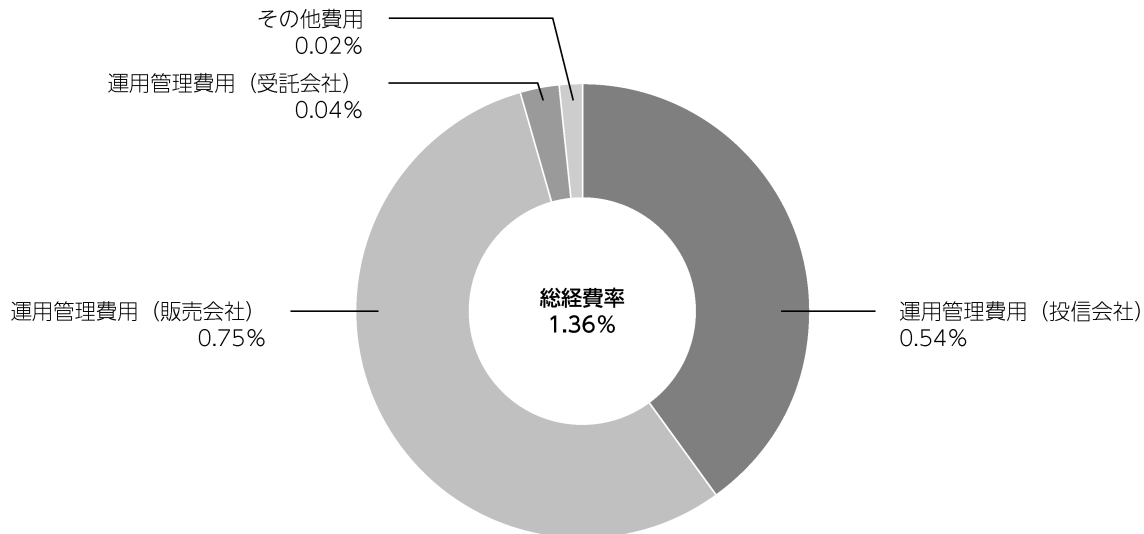
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成中の平均受益権口数に作成中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.36%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2018年10月26日～2019年4月25日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第65期～第70期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
短期ロシアルーブル債マザーファンド		140,679	124,333	216,980	190,793

○利害関係人との取引状況等

(2018年10月26日～2019年4月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年4月25日現在)

親投資信託残高

銘	柄	第64期末	第70期末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
短期ロシアルーブル債マザーファンド		1,244,345	1,168,045	1,090,370

○投資信託財産の構成

(2019年4月25日現在)

項 目	第70期末	
	評 価 額	比 率
短期ロシアルーブル債マザーファンド	千円 1,090,370	% 98.9
コール・ローン等、その他	12,308	1.1
投資信託財産総額	1,102,678	100.0

(注) 短期ロシアルーブル債マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産（1,088,075千円）の投資信託財産総額（1,097,459千円）に対する比率は99.1%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1アメリカドル=112.28円	1ロシアルーブル=1.75円	
-----------------	----------------	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第65期末	第66期末	第67期末	第68期末	第69期末	第70期末
	2018年11月26日現在	2018年12月25日現在	2019年1月25日現在	2019年2月25日現在	2019年3月25日現在	2019年4月25日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	1,075,149,768	1,011,738,981	1,047,528,182	1,063,960,555	1,071,538,415	1,102,678,600
コール・ローン等	3,819,613	4,806,387	3,856,031	3,857,541	4,867,269	5,188,501
短期ロシアルール債マザーファンド(評価額)	1,064,895,354	993,806,615	1,037,930,273	1,054,620,792	1,050,402,577	1,090,370,458
未収入金	6,434,801	13,125,979	5,741,878	5,482,222	16,268,569	7,119,641
(B) 負債	7,762,097	15,404,637	7,008,034	6,818,444	18,622,218	9,634,739
未払収益分配金	5,649,936	5,602,998	5,599,498	5,615,508	5,522,741	5,608,500
未払解約金	833,449	8,636,478	254,103	10,708	12,005,671	2,797,545
未払信託報酬	1,274,393	1,161,219	1,150,531	1,188,209	1,090,115	1,224,546
未払利息	7	9	7	6	8	10
その他未払費用	4,312	3,933	3,895	4,013	3,683	4,138
(C) 純資産総額(A-B)	1,067,387,671	996,334,344	1,040,520,148	1,057,142,111	1,052,916,197	1,093,043,861
元本	1,883,312,144	1,867,666,241	1,866,499,378	1,871,836,286	1,840,913,861	1,869,500,102
次期繰越損益金	△ 815,924,473	△ 871,331,897	△ 825,979,230	△ 814,694,175	△ 787,997,664	△ 776,456,241
(D) 受益権総口数	1,883,312,144口	1,867,666,241口	1,866,499,378口	1,871,836,286口	1,840,913,861口	1,869,500,102口
1万口当たり基準価額(C/D)	5,668円	5,335円	5,575円	5,648円	5,720円	5,847円

○損益の状況

項 目	第65期	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期
	2018年10月26日～ 2018年11月26日	2018年11月27日～ 2018年12月25日	2018年12月26日～ 2019年1月25日	2019年1月26日～ 2019年2月25日	2019年2月26日～ 2019年3月25日	2019年3月26日～ 2019年4月25日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 209	△ 229	△ 165	△ 167	△ 156	△ 221
支払利息	△ 209	△ 229	△ 165	△ 167	△ 156	△ 221
(B) 有価証券売買損益	683,473	△ 55,379,101	51,511,875	20,407,618	19,775,774	30,516,920
売買益	880,705	586,140	51,712,330	20,656,064	20,164,623	30,723,825
売買損	△ 197,232	△ 55,965,241	△ 200,455	△ 248,446	△ 388,849	△ 206,905
(C) 信託報酬等	△ 1,278,705	△ 1,165,152	△ 1,154,430	△ 1,192,222	△ 1,093,798	△ 1,228,684
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 595,441	△ 56,544,482	50,357,280	19,215,229	18,681,820	29,288,015
(E) 前期繰越損益金	△ 84,971,409	△ 82,956,332	△ 144,066,716	△ 98,742,809	△ 82,767,396	△ 68,715,133
(F) 追加信託差損益金	△ 724,707,687	△ 726,228,085	△ 726,670,296	△ 729,551,087	△ 718,389,347	△ 731,420,623
(配当等相当額)	(421,186,853)	(422,093,397)	(422,222,766)	(423,854,630)	(417,423,007)	(425,250,151)
(売買損益相当額)	(△1,145,894,540)	(△1,148,321,482)	(△1,148,893,062)	(△1,153,405,717)	(△1,135,812,354)	(△1,156,670,774)
(G) 計 (D + E + F)	△ 810,274,537	△ 865,728,899	△ 820,379,732	△ 809,078,667	△ 782,474,923	△ 770,847,741
(H) 収益分配金	△ 5,649,936	△ 5,602,998	△ 5,599,498	△ 5,615,508	△ 5,522,741	△ 5,608,500
次期繰越損益金 (G + H)	△ 815,924,473	△ 871,331,897	△ 825,979,230	△ 814,694,175	△ 787,997,664	△ 776,456,241
追加信託差損益金	△ 724,707,687	△ 726,228,085	△ 726,670,296	△ 729,551,087	△ 718,389,347	△ 731,420,623
(配当等相当額)	(421,198,220)	(422,177,297)	(422,240,272)	(423,883,434)	(417,454,661)	(425,396,529)
(売買損益相当額)	(△1,145,905,907)	(△1,148,405,382)	(△1,148,910,568)	(△1,153,434,521)	(△1,135,844,008)	(△1,156,817,152)
分配準備積立金	53,422,575	47,421,728	47,541,370	47,652,173	46,322,032	46,549,363
繰越損益金	△ 144,639,361	△ 192,525,540	△ 146,850,304	△ 132,795,261	△ 115,930,349	△ 91,584,981

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ① 作成期首（前作成期末）元本額 1,915,504,395円
 作成期中追加設定元本額 281,278,256円
 作成期中一部解約元本額 327,282,549円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.5847円です。
- ② 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は776,456,241円です。
- ③ 分配金の計算過程

項 目	2018年10月26日～ 2018年11月26日	2018年11月27日～ 2018年12月25日	2018年12月26日～ 2019年1月25日	2019年1月26日～ 2019年2月25日	2019年2月26日～ 2019年3月25日	2019年3月26日～ 2019年4月25日
費用控除後の配当等収益額	5,394,031円	4,440,020円	6,058,075円	5,997,327円	5,522,207円	6,430,215円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円	－円	－円	－円	－円	－円
収益調整金額	421,198,220円	422,177,297円	422,240,272円	423,883,434円	417,454,661円	425,396,529円
分配準備積立金額	53,678,480円	48,584,706円	47,082,793円	47,270,354円	46,322,566円	45,727,648円
当ファンドの分配対象収益額	480,270,731円	475,202,023円	475,381,140円	477,151,115円	469,299,434円	477,554,392円
1万円当たり収益分配対象額	2,550円	2,544円	2,546円	2,549円	2,549円	2,554円
1万円当たり分配金額	30円	30円	30円	30円	30円	30円
収益分配金金額	5,649,936円	5,602,998円	5,599,498円	5,615,508円	5,522,741円	5,608,500円

○分配金のお知らせ

	第65期	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期
1 万口当たり分配金（税込み）	30円	30円	30円	30円	30円	30円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

【お知らせ】

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。）の税率が適用されます。

短期ロシアルーブル債マザーファンド

《第12期》決算日2019年4月25日

[計算期間：2018年10月26日～2019年4月25日]

「短期ロシアルーブル債マザーファンド」は、4月25日に第12期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第12期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	<p>ロシアルーブル建ての短期公社債を主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。</p> <p>投資にあたっては、ロシアの国債、政府機関債等ならびにロシアルーブル建ての国際機関債に投資を行います。</p> <p>投資する公社債の残存年数は3年未満とします。</p> <p>金利や物価の動向、経済情勢や投資環境等を勘案してポートフォリオを構築します。</p> <p>デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。</p> <p>組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>
主 要 運 用 対 象	ロシアルーブル建ての短期公社債を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 総 資 産 額
		期 騰 落	中 率			
	円		%	%	%	百万円
8期(2017年4月25日)	9,080		22.6	95.9	-	1,255
9期(2017年10月25日)	9,499		4.6	93.6	-	1,323
10期(2018年4月25日)	8,904	△	6.3	92.1	-	1,269
11期(2018年10月25日)	8,754	△	1.7	94.3	-	1,089
12期(2019年4月25日)	9,335		6.6	95.2	-	1,090

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
				騰	落			
	(期 首)	2018年10月25日	円 8,754		% —		% 94.3	% —
	10月末		8,864		1.3		94.4	—
	11月末		8,823		0.8		87.3	—
	12月末		8,316		△5.0		92.9	—
	2019年1月末		8,739		△0.2		93.3	—
	2月末		8,914		1.8		94.8	—
	3月末		9,070		3.6		95.5	—
	(期 末)	2019年4月25日	9,335		6.6		95.2	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ6.6%の上昇となりました。

基準価額等の推移



●投資環境について

◎債券市況

・ロシアの債券市場では、短期ゾーンの金利は低下しました。2018年12月にロシア中央銀行が利上げを行ったことなどから、12月中旬にかけては短期ゾーンの金利は上昇基調で推移しました。その後、世界経済の減速懸念が高まったことに加え、2019年3月にロシア中央銀行が、インフレ圧力が抑制的であることを背景に2019年内に緩和サイクルに戻る可能性を示唆したことなどから、短期ゾーンの金利は低下基調で推移しました。

◎為替市況

・ロシアルーブルは対円で上昇しました。ロシアルーブルは、2018年12月中旬までは対円で概ね横ばいで推移しましたが、2019年1月上旬にかけて、世界経済の減速懸念等を背景に投資家のリスク回避的な姿勢が高まったことなどから、対円で下落しました。その後、株式市場の上昇などを背景にリスクセンチメントが改善したことなどから、ロシアルーブルは対円で上昇基調で推移した結果、期を通じてみると、ロシアルーブルは対円で上昇しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・ロシアルーブル建ての短期公社債に投資を行い、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざして運用を行い、期を通じて債券現物の組入比率は高位を維持しました。
- ・種別構成については、期を通じて残存期間3年以内の国債および国際機関債を組み入れました。
- ・債券の利子収益を享受したことやロシアルーブルが対円で上昇したことなどから、基準価額は上昇しました。

○今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・ロシアでは、外部環境の不透明感はあるものの、潜在成長率程度の成長が継続することが見込まれます。
- ・金融政策に関しては、自国通貨高と需要の弱さによりインフレ圧力が弱まっており、中央銀行は見通し通りに状況が展開すれば政策金利の引

き下げを行う可能性を示唆しており、当面インフレ動向を注視することが予想されます。

- ・主要先進国では、日本や欧州などの中央銀行により現行の緩和的な金融政策が継続する一方、米国では当面政策金利が据え置かれることが見込まれます。このような環境下、新興国に対する投資家のリスクセンチメントが改善する局面では、先進諸国との比較で相対的に金利水準の高いロシアなどへの金利差を狙った資金流入が今後も見込めると考えます。

◎今後の運用方針

(組入比率)

- ・安定した利子収益の確保をめざし、高位組み入れを継続する方針です。

(種別構成)

- ・当面は残存期間3年以内の国債および国際機関債での運用を行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2018年10月26日～2019年4月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
(保 管 費 用)	1	0.010	
(そ の 他)	(1)	(0.010)	
合 計	(0)	(0.000)	
期中の平均基準価額は、8,834円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年10月26日～2019年4月25日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
			千ロシアルーブル	千ロシアルーブル
外 国	ロシア	国債証券	275,739	287,255

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

○利害関係人との取引状況等

(2018年10月26日～2019年4月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年4月25日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ロシア	千ロシアルーブル 595,000	千ロシアルーブル 593,184	千円 1,038,073	% 95.2	% —	% —	% 44.5	% 50.7
合 計	595,000	593,184	1,038,073	95.2	—	—	44.5	50.7

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末						償還年月日
	利 率	額面金額	評 価 額		債 権 年 月 日		
			外貨建金額	邦貨換算金額			
ロシア	%	千ロシアルーブル	千ロシアルーブル	千円			
国債証券	6.4	RUSSIA OFZ 200527	6.4	100,000	98,913	173,097	2020/5/27
	7.0	RUSSIA OFZ 211215	7.0	150,000	147,684	258,447	2021/12/15
	7.5	RUSSIA OFZ 210818	7.5	130,000	129,718	227,007	2021/8/18
	7.6	RUSSIA GOVT 210414	7.6	150,000	150,090	262,658	2021/4/14
特殊債券	11.0	INTL FI (GL) 200121	11.0	65,000	66,778	116,862	2020/1/21
合 計						1,038,073	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2019年4月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 1,038,073	% 94.6
コール・ローン等、その他	59,386	5.4
投資信託財産総額	1,097,459	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(1,088,075千円)の投資信託財産総額(1,097,459千円)に対する比率は99.1%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=112.28円	1 ロシアルーブル=1.75円		
------------------	-----------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年4月25日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,097,459,403
コール・ローン等	41,801,105
公社債(評価額)	1,038,073,225
未収利息	14,221,835
前払費用	3,363,238
(B) 負債	7,119,659
未払解約金	7,119,641
未払利息	18
(C) 純資産総額(A-B)	1,090,339,744
元本	1,168,045,483
次期繰越損益金	△ 77,705,739
(D) 受益権総口数	1,168,045,483口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,335円

<注記事項>

- ①期首元本額 1,244,345,821円
 期中追加設定元本額 140,679,783円
 期中一部解約元本額 216,980,121円
 また、1口当たり純資産額は、期末0.9335円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

短期ロシアルーブル債オープン(毎月分配型) 1,168,045,483円

③純資産総額が元本額を下回っており、その差額は77,705,739円です。

○損益の状況 (2018年10月26日～2019年4月25日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	39,024,963
受取利息	39,028,656
支払利息	△ 3,693
(B) 有価証券売買損益	28,557,054
売買益	32,662,401
売買損	△ 4,105,347
(C) 保管費用等	△ 107,180
(D) 当期損益金(A+B+C)	67,474,837
(E) 前期繰越損益金	△155,020,513
(F) 追加信託差損益金	△ 16,346,638
(G) 解約差損益金	26,186,575
(H) 計(D+E+F+G)	△ 77,705,739
次期繰越損益金(H)	△ 77,705,739

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。